



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
 コード番号 4547 URL http://www.kissei.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	36,587	2.1	4,118	△7.9	5,174	6.5	4,280	10.0
29年3月期第2四半期	35,834	6.7	4,473	△11.3	4,859	△13.0	3,890	△1.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 9,562百万円( -%) 29年3月期第2四半期 △526百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	88.60	—
29年3月期第2四半期	79.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	198,151	166,234	83.7	3,433.22
29年3月期	186,801	157,783	84.3	3,258.76

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 165,882百万円 29年3月期 157,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
30年3月期	—	24.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	4.6	9,500	11.9	11,100	15.2	8,600	11.3	177.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	54,311,185株	29年3月期	54,311,185株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	5,994,350株	29年3月期	5,994,175株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	48,316,893株	29年3月期2Q	48,927,314株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. その他 .....	13
(1) 販売実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、企業間での市場競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られ、個人消費も緩やかに持ち直しつつあるものの、景気を牽引するほどの力強さはなく、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	35,834	36,587	2.1
営業利益(百万円)	4,473	4,118	△7.9
経常利益(百万円)	4,859	5,174	6.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	3,890	4,280	10.0

## ・売上高(医薬品事業)の状況

医薬品事業の売上高は、322億9千7百万円(前年同期比5.9%増)となりました。長期収載医薬品などが減少いたしましたが、主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」、糖尿病治療薬「グルベス配合錠」などの売上が増加いたしましたことに加え、輸出売上や技術料売上が増加いたしましたことなどにより増収となりました。なお、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン(一般名、日本製品名ユリーフ)の欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社(イタリア)では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

## ・売上高(その他の事業)の状況

その他の事業の売上高は、42億9千万円(前年同期比19.5%減)となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

## ・利益の状況

利益面では、増収に加えて、その他の事業の減収を主要因とする売上原価率の低下により、売上総利益は増益となりましたものの、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたことにより営業利益は減益となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、有価証券評価益や投資有価証券売却益を計上いたしましたことなどにより増益となりました。

## ・研究開発の状況

本年9月にピートルチュアブル錠の剤形追加(顆粒剤)の承認申請を行いましたほか、昨年10月に当社との共同開発先でありますEAファーマ株式会社より承認申請が行われました潰瘍性大腸炎治療薬AJG511(開発番号、一般名:ブデソニド)の製造販売承認を本年9月に取得いたしましたことから、薬価基準収載後に製品名「レクタブル2mg注腸フォーム14回」として販売を開始するための準備を進めております。同じく本年9月には、過活動膀胱治療薬KRP-114V(開発番号、一般名:ビベグロン)について当社との共同開発先であります杏林製薬株式会社より承認申請が行われました。また、本年6月にピフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社(スイス)との間で、日本での独占的開発・販売権取得に関する契約を締結いたしました補体C5a受容体阻害剤CCX168(開発番号、一般名:アバコパン)は、第I相臨床試験を開始しております。なお、昨年7月に承認申請を行いましたグルベス配合錠の剤形追加(口腔内崩壊錠)につきましては、追加試験の実施に伴い、本年6月に承認申請を一旦取り下げております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ・資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,981億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億4千9百万円増加いたしました。流動資産はたな卸資産などが減少いたしました。受取手形及び売掛金、現金及び預金、有価証券が増加いたしましたことなどにより、40億6千6百万円増加し1,012億8千5百万円となりました。固定資産は投資有価証券が時価評価により増加いたしましたことなどにより、72億8千3百万円増加し968億6千5百万円となりました。

## ・負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債は319億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9千9百万円増加いたしました。流動負債は未払法人税等並びに「その他」に含まれる未払金が増加いたしましたことなどにより、13億4百万円増加し169億6千万円となりました。固定負債は繰延税金負債が増加いたしましたことなどにより、前連結会計年度末に比べ15億9千4百万円増加し149億5千6百万円となりました。

## ・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,662億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ84億5千万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金、利益剰余金が増加いたしましたことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.3%から83.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より14億9百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末では466億8千9百万円（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、その他流動負債の増加などの資金増加要因がありましたが、売上債権の増加などが資金減少要因となり、前年同期に比べ6億8千5百万円減の28億9千5百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有価証券の取得による支出の増加などの資金減少要因がありましたが、投資有価証券の取得による支出の減少などが資金増加要因となり、前年同期に比べ1億6千4百万円支出減の32億4千8百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ7千8百万円支出増の10億5千6百万円の支出となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境にあります。また、その他の事業におきましても、景気回復への足取りが鈍く依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資を成果へと結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。現時点での平成30年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

## 連結業績見通し

	29年3月期実績	30年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	71,706	75,000	3,294	4.6
営業利益(百万円)	8,491	9,500	1,009	11.9
経常利益(百万円)	9,638	11,100	1,462	15.2
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,726	8,600	874	11.3

## ・売上高

当初見通しより18億円増額の750億円（前年度比4.6%増収）に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして15億円、その他の事業におきまして3億円の増額といたしました。医薬品事業では、主として輸出売上及び技術料売上について売上を見直したことにあります。

## ・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、売上原価率、販売費及び一般管理費が当初計画を上回りましたものの、医薬品事業及びその他の事業における売上高が当初計画を上回りましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率は当初計画通りを見込んでおります一方、研究開発費を主に販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。

通期の売上高を増額修正いたしますことなどから、通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより5億円増額の95億円（前年度比11.9%増益）、経常利益は当初見通しより11億円増額の111億円（前年度比15.2%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより8億円増額の86億円（前年度比11.3%増益）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益並びに特別損益におきましては、特別なものは見込んでおりません。

## (参考) 個別業績見通し

	29年3月期実績	30年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	61,454	64,000	2,546	4.1
営業利益(百万円)	7,670	8,800	1,130	14.7
経常利益(百万円)	8,819	10,400	1,581	17.9
当期純利益(百万円)	7,400	8,200	800	10.8

・1株当たり当期純利益予想は、169円71銭であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,109	27,695
受取手形及び売掛金	24,730	27,636
有価証券	21,039	21,267
商品及び製品	5,504	5,077
仕掛品	485	1,127
原材料及び貯蔵品	10,735	9,982
繰延税金資産	2,179	2,212
その他	5,434	6,287
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	97,218	101,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,915	38,022
減価償却累計額	△27,326	△27,661
建物及び構築物(純額)	10,589	10,360
土地	12,933	12,913
建設仮勘定	59	72
その他	14,742	15,089
減価償却累計額	△12,016	△12,259
その他(純額)	2,725	2,830
有形固定資産合計	26,308	26,176
無形固定資産		
1,845	1,845	1,824
投資その他の資産		
投資有価証券	58,344	65,954
繰延税金資産	517	511
その他	2,619	2,452
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	61,428	68,864
固定資産合計	89,582	96,865
資産合計	186,801	198,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,849	4,138
短期借入金	1,800	1,770
未払法人税等	1,055	2,004
賞与引当金	2,088	2,013
その他の引当金	582	513
その他	5,278	6,520
流動負債合計	15,656	16,960
固定負債		
長期借入金	1,656	1,770
繰延税金負債	5,645	7,365
役員退職慰労引当金	134	143
退職給付に係る負債	5,379	5,130
資産除去債務	112	113
その他	433	433
固定負債合計	13,361	14,956
負債合計	29,017	31,917
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	101,755	104,924
自己株式	△12,838	△12,839
株主資本合計	137,499	140,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,268	26,390
退職給付に係る調整累計額	△1,313	△1,175
その他の包括利益累計額合計	19,954	25,214
非支配株主持分	329	351
純資産合計	157,783	166,234
負債純資産合計	186,801	198,151



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	35,834	36,587
売上原価	12,592	12,327
売上総利益	23,242	24,259
返品調整引当金戻入額	12	11
返品調整引当金繰入額	9	11
差引売上総利益	23,245	24,259
販売費及び一般管理費	18,771	20,141
営業利益	4,473	4,118
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	484	541
有価証券評価益	—	556
その他	36	33
営業外収益合計	545	1,149
営業外費用		
支払利息	12	12
有価証券評価損	16	—
為替差損	128	78
その他	3	1
営業外費用合計	159	92
経常利益	4,859	5,174
特別利益		
固定資産売却益	18	—
投資有価証券売却益	341	309
特別利益合計	359	309
特別損失		
固定資産処分損	11	14
関係会社出資金評価損	59	—
特別損失合計	71	14
税金等調整前四半期純利益	5,147	5,470
法人税、住民税及び事業税	1,397	1,746
法人税等調整額	△156	△576
法人税等合計	1,240	1,170
四半期純利益	3,907	4,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,890	4,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,907	4,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,607	5,121
退職給付に係る調整額	173	140
その他の包括利益合計	△4,434	5,262
四半期包括利益	△526	9,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△546	9,540
非支配株主に係る四半期包括利益	19	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,147	5,470
減価償却費	1,139	1,169
引当金の増減額 (△は減少)	18	△135
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	△46
受取利息及び受取配当金	△509	△559
支払利息	12	12
為替差損益 (△は益)	4	△0
有価証券評価損益 (△は益)	16	△556
固定資産売却損益 (△は益)	△18	—
固定資産処分損	11	14
投資有価証券売却損益 (△は益)	△341	△309
関係会社出資金評価損	59	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,303	△2,906
たな卸資産の増減額 (△は増加)	268	538
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	307	△322
仕入債務の増減額 (△は減少)	△483	△711
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,106	1,817
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△16	0
その他	△3	0
小計	4,833	3,474
利息及び配当金の受取額	469	510
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額	△1,709	△1,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,580	2,895
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△36	△38
定期預金の払戻による収入	38	42
有価証券の取得による支出	—	△1,999
特定金銭信託の払戻による収入	56	66
有形固定資産の取得による支出	△585	△1,033
有形固定資産の売却による収入	20	20
無形固定資産の取得による支出	△304	△161
投資有価証券の取得による支出	△3,267	△700
投資有価証券の売却及び償還による収入	580	503
貸付けによる支出	△46	△24
貸付金の回収による収入	56	54
長期前払費用の取得による支出	△1	△1
その他	78	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,412	△3,248

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	80
短期借入金の返済による支出	—	△80
長期借入れによる収入	185	132
長期借入金の返済による支出	△52	△47
リース債務の返済による支出	△33	△28
配当金の支払額	△1,076	△1,111
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△978	△1,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△814	△1,409
現金及び現金同等物の期首残高	50,094	48,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,280	46,689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	30,507	30,507	5,327	35,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,334	2,334
計	30,507	30,507	7,662	38,169
セグメント利益	4,064	4,064	383	4,447

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,064
「その他」の区分の利益	383
セグメント間取引消去	10
固定資産の調整額	18
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	4,473

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	32,297	32,297	4,290	36,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,553	2,553
計	32,297	32,297	6,843	39,141
セグメント利益	3,862	3,862	257	4,120

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,862
「その他」の区分の利益	257
セグメント間取引消去	18
固定資産の調整額	△25
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	4,118

## 3. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
泌尿器科用薬剤	8,005	22.3	8,553	23.4	548	6.8
腎・透析科用薬剤	4,615	12.9	5,582	15.3	967	21.0
代謝内分泌科用薬剤	5,585	15.6	5,101	13.9	△483	△8.7
産婦人科用薬剤	1,532	4.3	1,379	3.8	△153	△10.0
眼科用薬剤	695	1.9	593	1.6	△102	△14.7
その他の薬剤	4,744	13.2	5,312	14.5	567	12.0
ヘルスケア食品	1,905	5.3	1,883	5.1	△22	△1.2
その他	3,421	9.5	3,890	10.6	469	13.7
報告セグメント計	30,507	85.1	32,297	88.3	1,790	5.9
その他の事業	5,327	14.9	4,290	11.7	△1,037	△19.5
合計	35,834	100.0	36,587	100.0	752	2.1
(うち輸出高)	(3,092)	(8.6)	(4,419)	(12.1)	(1,327)	(42.9)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。